



新学習指導要領に対応した学びの地図づくりを体験しませんか？

新学習指導要領を踏まえた 小中一貫した教育課程に関する研究 —各教科の指導から考える学びの地図の構築—

令和2年1月31日（金）

9：30～16：30（9：15受付開始）

会場：東京都立矢口特別支援学校

東急多摩川線「武蔵新田」下車 徒歩5分

内容

- 新学習指導要領に基づく各教科の学びの地図の提案
- 新学習指導要領と実践をつなぐグループワーク
- 講師講演
「新学習指導要領と知的障害特別支援学校の教科教育」

指導講師

東京学芸大学 教授

菅野 敦 氏

応募方法

FAXでのお申込みとなります。

裏面の用紙に必要事項をご記入の上、送信してください。

定員

50名

（定員になり次第締め切らせて
いただきます）

アクセス



東京都立矢口特別支援学校

問い合わせ先

副校長

研修研究部主幹

研修研究部主任

竹内 朗

野澤 良介

城田 和晃

電話 03(3759)6715

FAX 03(3759)2763

URL <http://www.yaguchi-sh.metro.tokyo.jp>

Mail S1000251@section.metro.tokyo.jp

本校の研究について

1 研究テーマについて

研究テーマの設定理由は、新学習指導要領の理解とそれに対する対応をねらいとしたものである。

①新学習指導要領
への対応

②各教科の指導が
重視される方向性

③学びの地図の構築が
求められる

研究テーマ

「新学習指導要領を踏まえた小中一貫した教育課程に関する研究
—各教科の指導から考える学びの地図の構築—」

研究テーマを踏まえて
適任であると考えられる指導講師を

2 指導講師について

東京学芸大学 教育実践研究支援センター 教授

菅野 敦 氏

(東京都教育委員会 知的障害特別支援学校の教育課程の
在り方検討委員会 専門委員)



本研究の指導講師として選定し、スーパーバイズを依頼しました。

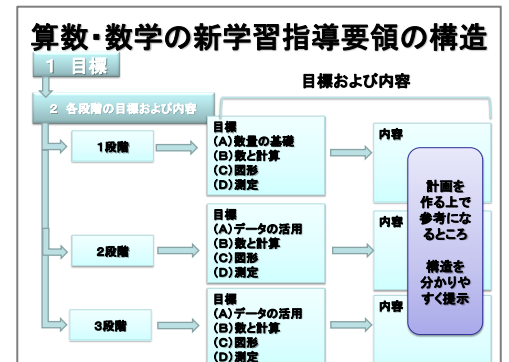
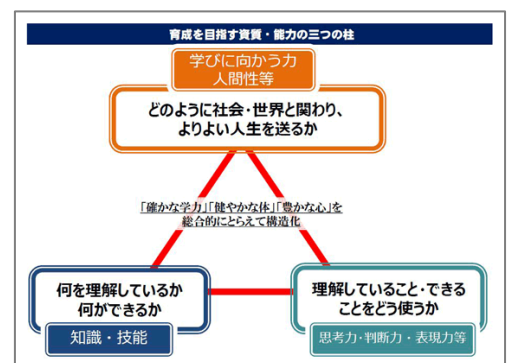
課題解決に向けた具体的な取り組みを

3 研究テーマに対する取り組みについて

①新学習指導要領への対応について

「学習指導要領」では、小学校、中学校、高等学校等ごとに、それぞれの教科等の目標や大まかな教育内容を定めています。これが戦後最大の改訂となれば、喫緊の課題になることもうなずけます。新学習指導要領は、「**育成を目指す資質・能力の三つの柱**」を基にして、構成されています。まずは、新学習指導要領が目指す姿を指導講師による講義から学び、研究に対する共通理解を図ることからスタートしていきました。

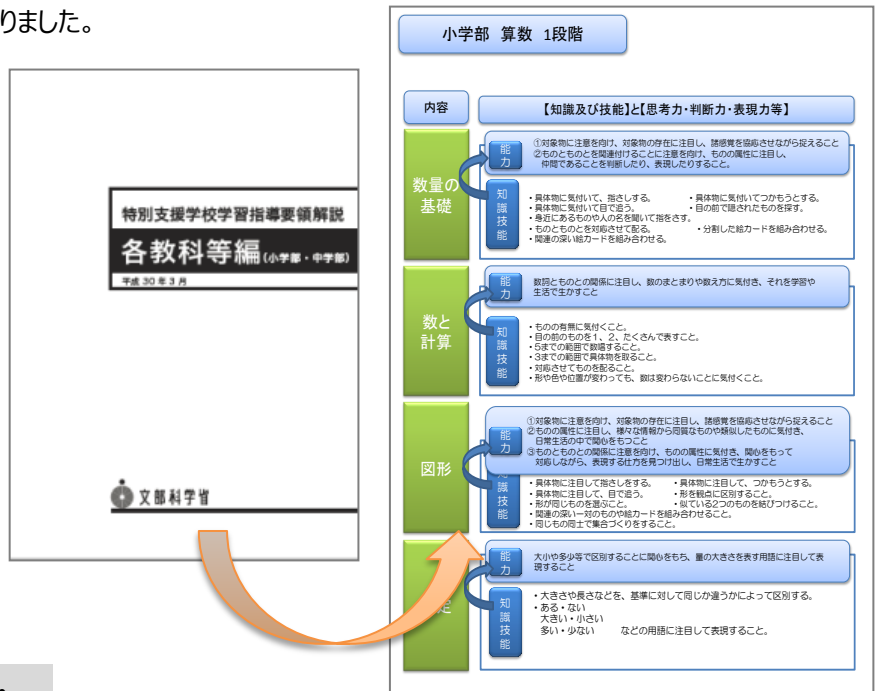
また、我々は特別支援学校学習指導要領を拠り所として指導を行っていますが、新しい学習指導要領はこれまでの学習指導要領とは構造や内容が大きく異なり、抜本的な改訂がなされていることも学びました。小学校や中学校の学習指導要領と構造上の一致が図られたことは、戦後初めてのことであり、菅野教授からは「インクルーシブ教育」の流れを汲んでいるという説明がありました。



②各教科の指導が重視される方向へ

新学習指導要領では、戦後初めて「特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）」が作成されました。600 ページを超える解説書であり、段階に応じて指導内容が詳細に記載されています。このことから各教科の指導が重視される方向性であることが明確なものとなりました。

とはいえ、内容が従前のもものと比べて格段に増えた新学習指導要領の構造を理解することは容易ではないことが考えられたため、研修研究部では、「新学習指導要領内容構成表」を作成しました。視覚的に新学習指導要領の構造や内容を捉えられるようにすることで、十分な理解と積極的な活用を目指すことがねらいでした。



4 1月31日の公開研究会では・・・

研究主題に対する取組として、2年次は「①新学習指導要領への対応」と「②各教科の指導の重要性」という2点に対して取組を行い、目標に迫りました。3年目を迎えた今年度は、**③学びの地図の構築に向けて** という課題に取組み、新学習指導要領が施行される2020年に向けた準備を行っています。

これらの取り組みについて、公開研究会を実施し、発表させていただくことで、参加者の皆様と有意義な時間を過ごすことができると考えています。

5 来校者への配布物

ご来校いただきました皆様に、以下の3点を配布させていただきます。皆様のご来校、心よりお待ちしております。

1 研究紀要

「新学習指導要領を踏まえた小中一貫した教育課程に関する研究

—各教科の指導から考える学びの地図の構築—

2 新学習指導要領 内容構成表 <全教科>

3 新学習指導要領を踏まえた学びの地図（シラバス）

学びの地図（シラバス）

新学習指導要領を踏まえ、学習内容の系統性に配慮し、整理した指導内容表。小学部入学時から中学部を卒業するまでの9年間の中で、必要な知識・技能及び能力を身に付けられるよう教科ごとに作成し、指導計画の立案や授業づくりにおいて活用。

| 小学部 体育 | 1学期 | 2学期 | 3学期 |
|--|--|--|--|
| 注 体育や保健の恩恵を受け、考え方を働かせ、課題に取付き、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 目標 1 遊びや基本的な運動のやり方及び身近な生活における健康についての知識と技能。基本的な動作や健康な生活に必要な身体を身に付けること。【知・技】 2 遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に取付き、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝わる力を養う。【思・判・表】 3 遊びや基本的な運動に親しみ心身の健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。【学習・人間性】 | | | |
| 内容（領域） ①体づくり運動遊び ②走・跳の運動遊び ③ボール遊び | ①体づくり運動遊び ②器・器具を使った運動遊び ③ボール遊び | ①体づくり運動遊び ②器・器具を使った運動遊び ③ボール遊び | ①体づくり運動遊び ②器・器具を使った運動遊び ③ボール遊び |
| 目標（ねらい） ①教師と一緒に手先を動かしたり、歩いていたり楽しく体を動かすこと。 ②教師と一緒に走り回り、跳んだり楽しく体を動かすこと。 | ①教師と一緒に器・器具を使って楽しく体を動かすこと。 ②教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすこと。 | ①教師と一緒に器・器具を使って楽しく体を動かすこと。 ②教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすこと。 | ①教師と一緒に器・器具を使って楽しく体を動かすこと。 ②教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすこと。 |
| 小学部 1年生 学習内容（例示） ①なつかし体操、リズム運動 ※テープの上を歩く、縄を踏まないように歩くなど ②持久走、折り返し走、障害物走 ※その場跳び、上方への両足跳び | ①なつかし体操、リズム運動 ※テープの上を歩く、縄を踏まないように歩くなど ②マット遊び、とびこ遊び、平均台、低鉄棒 ※ ③ボールを使った遊び（投げ、蹴る） ※転がす、投げる、蹴る、取る、止めるなどの遊びの当て遊び | ①なつかし体操、リズム運動 ※テープの上を歩く、縄を踏まないように歩くなど ②マット遊び、とびこ遊び、平均台、低鉄棒 ※ ③ボールを使った遊び（投げ、蹴る） ※転がす、投げる、蹴る、取る、止めるなどの遊びの当て遊び | ①なつかし体操、リズム運動 ※テープの上を歩く、縄を踏まないように歩くなど ②マット遊び、とびこ遊び、平均台、低鉄棒 ※ ③ボールを使った遊び（投げ、蹴る） ※転がす、投げる、蹴る、取る、止めるなどの遊びの当て遊び |
| 小学部 2年生 学習内容 ①体づくり運動 ②走・跳の運動 ③ボール遊び | ①体づくり運動 ②器・器具を使った運動遊び ③ボール遊び | ①体づくり運動 ②器・器具を使った運動遊び ③ボール遊び | ①体づくり運動 ②器・器具を使った運動遊び ③ボール遊び |
| 目標（ねらい） ①教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくりの運動すること。 ②教師の支援を受けながら、楽しく器・器具を使った基本的な運動ゲームをすること。 | ①教師の支援を受けながら、楽しく器・器具を使って楽しく体を動かすこと。 ②教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動ゲームをすること。 | ①教師の支援を受けながら、楽しく器・器具を使って楽しく体を動かすこと。 ②教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動ゲームをすること。 | ①教師の支援を受けながら、楽しく器・器具を使って楽しく体を動かすこと。 ②教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動ゲームをすること。 |
| 小学部 2年生 学習内容 ①なつかし体操、リズム運動 ※テープの上を歩く、縄を踏まないように歩くなど ②持久走、折り返し走、短距離走（色々なスタート姿勢による） ※その場跳び、上方への両足跳び | ①なつかし体操、リズム運動 ※テープの上を歩く、縄を踏まないように歩くなど ②マット遊び、とびこ遊び、平均台、低鉄棒 ※ ③ボールを使った遊び（投げ、蹴る） ※転がす、投げる、蹴る、取る、止めるなどの遊びの当て遊び | ①なつかし体操、リズム運動 ※テープの上を歩く、縄を踏まないように歩くなど ②マット遊び、とびこ遊び、平均台、低鉄棒 ※ ③ボールを使った遊び（投げ、蹴る） ※転がす、投げる、蹴る、取る、止めるなどの遊びの当て遊び | ①なつかし体操、リズム運動 ※テープの上を歩く、縄を踏まないように歩くなど ②マット遊び、とびこ遊び、平均台、低鉄棒 ※ ③ボールを使った遊び（投げ、蹴る） ※転がす、投げる、蹴る、取る、止めるなどの遊びの当て遊び |

※は特別支援学校学習指導要領解説 各教科編より例示の一部を掲載

**令和元年度 東京都立矢口特別支援学校
全国公開研究会申込用紙(FAX 専用)**

FAX: 03 (3759) 2763

電話 : 03 (3759) 6715

ご芳名

ご所属について

名 称

住 所

電話番号

FAX

Email

一緒に参加される方のお名前

連絡事項

申し込み締め切り 1月17日(金) ※定員に達した場合はお断りする場合がございます。

担当 研修研究部主任 城田 和晃